

Vericut V9.6 日本語版 インストールガイド

ベリカットのインストール手順

ベリカットを正常にインストールするためには、以下の手順で作業を進めます。

- | | | | |
|-------|-------------------------------|-----------|-------|
| I. | インストール環境の確認 | 本ページ | |
| II. | Windowsのユーザーアカウント制御(権限)の確認と変更 | 手順(1~2) | |
| III. | ライセンスサーバーの確認と準備 | 手順(3~4) | ※要再起動 |
| IV. | インストーラーの準備とベリカット本体のインストール | 手順(5~18) | |
| V. | ライセンスサーバーのインストールと情報の登録 | 手順(19~25) | |
| VI. | ベリカットをクライアントPCで使用する場合の設定 | 手順(26~27) | ※要再起動 |
| VII. | Windowsのユーザーアカウント制御(権限)の復元 | 手順(28) | ※要再起動 |
| VIII. | ベリカットの起動確認 | 手順(29) | |

- *ユーザーアカウント制御の変更(II)を省略するとライセンスファイルが正常に作成されない場合があります。
- *作業中にエラーの発生など手順書との相違が生じた場合は巻末の「付録3 手順索引」をご覧ください。

ベリカットのインストール環境

インストール作業の開始前に必ずハードディスクの空き容量、使用OSなどインストール環境を確認してください。
ベリカットの推奨動作環境は巻末の「付録2 ベリカットの動作環境」をご確認ください。

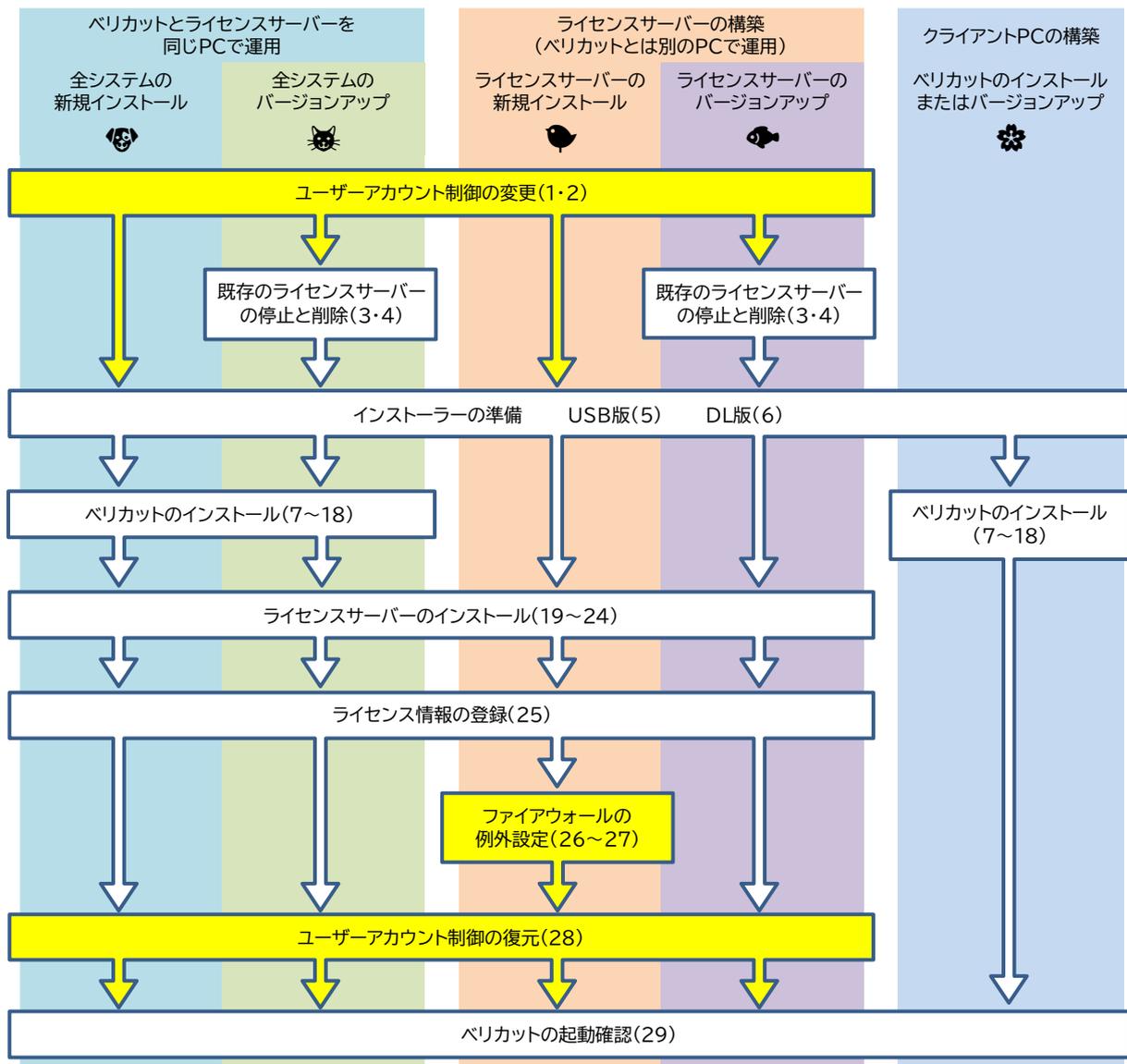
ハードディスク容量	フルインストール時8GB以上の空き容量(サンプル、電子マニュアルを含む) 各オプションを追加する際は上記より空き容量が必要になる場合があります。 *インストール時は、上記に加え2GB以上の空きディスク容量が必要です。
Windows OS	Windows10/11 64bit (CATIA-V5インターフェースはWindows Script5.3以上) *「Windows Virtual Machine (VM)」などの仮想マシンはサポートしません。 *Windows10(32bit版)は対応していません。 *Windows10は2025年10月にMicrosoft社によるサポートが終了予定です。 安全性と将来の互換のため、Windows11でのご利用を推奨いたします。

【重要】 インストールは管理者(administrator)権限のアカウントで行ってください。
 (右クリックの「管理者として実行」では正常にインストールできません。)

はじめに インストール作業の確認

ベリカットとライセンスサーバーは同じPCにインストールしてスタンドアロン環境として使用、またはそれぞれを別のPCにインストールしてネットワーク環境で使用することができます。

構築したい環境により、インストール作業の内容が変わりますので、以下の作業フローを確認してください。作業フローごとに参考用のアイコン(🐱🐱🐱🐱🐱)を表示しています。各項の番号表記と併せてご参照ください。作業フローに併記されている数字は、次ページ以降の作業手順の項目番号に該当します。



*黄色表示の作業工程では、操作の最後にPCの再起動が必要です。

*ベリカットを起動するためには、ライセンスサーバーにライセンス情報を登録する必要があります。

*追加で購入したオプションモジュールのライセンスを、運用済みの環境にあとから追加登録する場合は付録(3)手順索引の[手順25]の項をご覧ください。

ライセンスサーバーをインストールするための準備(1~2)



ライセンスサーバーを構築して運用する環境で、インストール作業の前に必要な手順です。この作業ではPCの再起動を伴います。

※V9.2以前のライセンスサーバーを使用している場合には、最新のバージョンにする必要があります。

※ベリカット本体のみを単独でPCにインストールする場合(🌸)は、[手順5]から始めます。
[手順1~4]は必要ありません。

1. ユーザーアカウント制御の無効化

Windowsのシステムフォルダー内にライセンスファイルを作成するには、システムフォルダーへの書き込み権限が必要です。そのため、一時的にログインアカウントの設定を変更します。
またインストール作業の完了後には**必ず元の設定に戻してください**。

- (1) 管理者(Administrator)権限のアカウントでWindowsにログインします。
*アカウントの権限はWindowsのスタートメニューから、
[🗑️(スタート)]>[⚙️設定]>[👤アカウント]で確認できます。
- (2) Windowsのタスクバーにある[🔍 検索]をクリックします。
- (3) キーボードから[uac]と入力します。
- (4) 表示された「最も一致する検索結果」リストから、[🚩ユーザーアカウント制御設定の変更(コントロールパネル)]を選択します。
- (5) 「通知レベル」の現在の設定値を確認します。
(全作業の完了後に元の設定に戻すため、右図にメモを残すと便利です)
- (6) 通知レベルを一番下の「通知しない」にします。
- (7) 
- (8) 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」のアラートに[はい]
- (9) コンピューターを再起動させて、設定内容を反映させます。



2. 再起動したWindowsにログインする

[手順2]で設定を変更した管理者(Administrator)権限のアカウントでWindowsにログインします。

ライセンスサーバーのバージョンアップを伴うインストール(🐸🐹)を行っている場合は、次の手順に進みます。
新規インストールの作業(🌸🍷)では[手順5]に進みます。[手順3・4]は必要ありません。

ライセンスサーバーの停止と削除(3~4)



ライセンスサーバーが既に稼働している環境で、ライセンスサーバーのバージョンアップを行う作業(🐼🐻)で必要な手順です。

※新規のインストール(🐼🐻)、ベリカット本体のみのインストール(🌸)は、[手順5]に進みます。

3. ライセンスサーバーの準備(1) ライセンスサーバーの実行パスの確認と停止

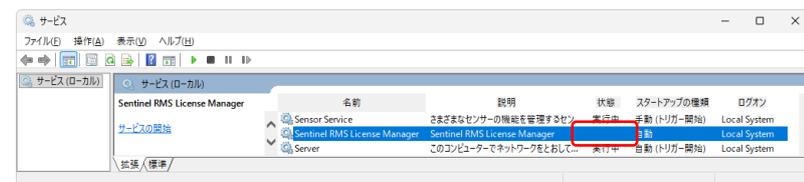
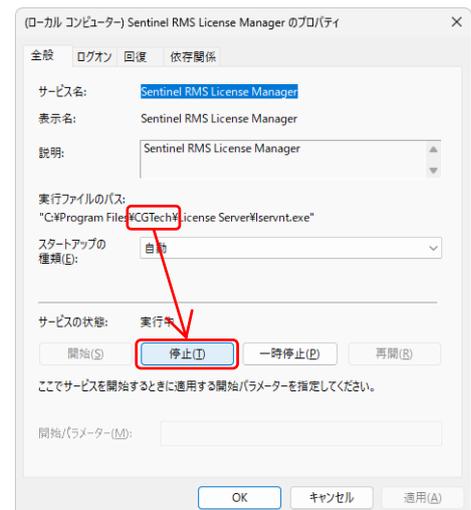
以下の手順はライセンスサーバーを既に運用している場合のみ行います。
新規にベリカットとライセンスサーバーの環境を構築している場合は必要ありません。

現在使用中のライセンスサーバーのバージョンを確認してから、サービスを停止します。

- (1) Windowsのタスクバーにある[🔍 検索]をクリックします。
- (2) [services]と入力して、候補リストから[🔧 サービス]を選択します。
- (3) 「Sentinel RMS License Manager」の上で右クリックして、[プロパティ]を選択します。



- (4) 「Sentinel RMS License Managerのプロパティ」で、「実行ファイルのパス」の内容から現在使用中の実行元を確認します。
- (5) 右図例では弊社提供のソフトウェアで実行したと判断できます。CGTech関連以外のパスから実行されている場合には、状況ごとに対処が異なりますので技術サポートまでお問い合わせください。
- (6) **停止(I)** ボタンを押します。
「サービス」一覧ウィンドウで、「Sentinel RMS Manager」の状態が「空白」に変わったことを確認します。



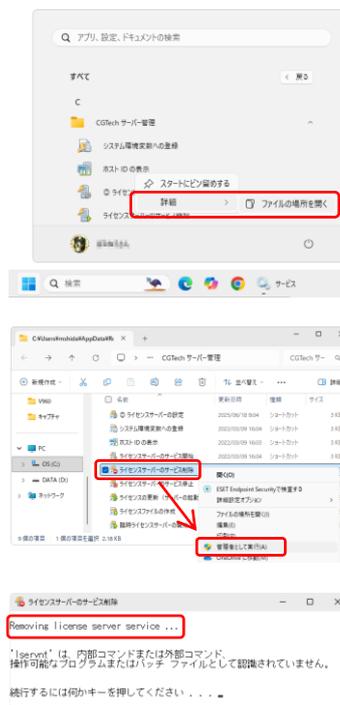
- (7) ここで使用したウィンドウをすべて閉じます。

4. ライセンスサーバーの準備(2) 既存のライセンスサーバーのサービス削除

ベリカットのプログラムグループから、サービス削除のコマンドを管理者として実行します。

- (1) [スタート]メニューを表示し、[すべて >] をクリックしてアプリ一覧に表示を切り替え、[CGTechサーバー管理]グループを展開します。
- (2) サーバー管理グループ内のいずれかのアイコンの上で、右クリックします。
- (3) コンテキストメニューで[詳細]>[ファイルの場所を開く]を実行します。
- (4) 表示されたフォルダー内にある[ライセンスサーバーのサービス削除]の上で右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。
- (5) コマンドプロンプトに「Removing license server service...」と表示されていれば、正常に削除されています。
lservntなどに関する注意の表示は、ここでは無視できます。
- (6) キーの押下を要求されたら、キーボードのEnterキーを押します。

なお、バージョンによりグループ名が上記と異なる場合もあります。その場合は、[手順3(4)]で確認したパスに表記されたバージョンのグループをご確認ください。



インストーラーの準備(5~6)



すべてのインストール作業に必要な準備です。ダウンロード版のURLはベリカットご担当者様に個別にお知らせしております。所定のURLからダウンロードしてください。

5. インストーラーの準備(USB版)

- (1) 製品USBメモリをPCのUSBポートに装着します。
- (2) Windowsのエクスプローラーを起動し、[PC]をクリックします。
- (3) 装着したUSB(リムーバブルドライブ)の中身を表示します。

6. インストーラーの解凍(DL版)

- (1) ダウンロードしたZIPファイル(dvd_961_ja)の上で右クリックし、コンテキストメニューで[すべて展開(T)...]を選択します。
- (2) 「圧縮(ZIP形式)フォルダーの展開」ウィンドウで、展開先がローカルフォルダーになっていることを確認し、[展開(E)] ボタンを押します。
- (3) ZIPファイルの展開で作成された[dvd_961_ja]の上で右クリックし、コンテキストメニューで[開く]を選択します。



ベリカットのシステムインストール(7~18)



ベリカットのシステムインストール(🐱🐶🐷)を行う作業です。

ライセンスサーバーのみのインストール作業(🐷🐶)は、[手順19]に進みます。

7. ベリカットのインストール(1) インストーラーの起動

- (1) [手順6]で展開したフォルダー内に格納されている「**Vericut_install_v961.exe**」の上で右クリックし、コンテキストメニューで[👉 管理者として実行]を選択します。
- (2) インストーラーが開始したら、表示言語を選択し、**OK** ボタンを押します。
*表示言語は日本語/英語のいずれかをリストで選択できます。



8. ベリカットのインストール(2) 使用許諾契約書

- (1) 「はじめに」のページで内容を確認し、ボタンを押します。
- (2) 「使用許諾契約書」を一読し、内容を確認した上で「**使用許諾契約書の条項に同意する**」にチェックを入れて、**次へ(N)** ボタンを押します。
- (3) **キャンセル** をクリックすると、インストール作業の終了を選択できます。



9. ベリカットのインストール(3) インストール先の指定

- (1) インストール先のフォルダーを指定します。
- (2) 入力内容を初期設定に戻す場合は **デフォルトのフォルダーに復元する(R)** を押します。
- (3) **選択(O)...** を押すと、インストール先として任意のフォルダーを指定できます。
- (4) **次へ(N)** ボタンを押します。



10. ベリカットのインストール(4) システム構成の選択

- (1) インストールする構成を指定します。通常は「**すべての構成**」を選択します。インストール内容を変更したい場合は、「**本体と電子マニュアル**」または「**カスタム**」を選択します。
- (2) **次へ(N)** ボタンを押します。

*「カスタム」選択時は次画面で構成内容(ベリカット/電子マニュアル/サンプルとトレーニングのファイル)をチェックボックスで選択し **次へ(N)** を押します。



11. ベリカットのインストール(5) ライセンスサーバーの設定

- (1) ライセンスサーバーの参照先を指定します。

「別のコンピューターの既存ライセンスサーバーを使用」は、ネットワーク上の別PCでライセンスサーバーを運用する場合に選択し、テキストボックスでそのホスト名を指定します。

(指定例 ホスト名:server001/IPアドレス:192.168.0.1など)

「このコンピューターの既存ライセンスサーバーを使用」および、「このコンピューターにライセンスサーバーをインストール」は、ネットワークを介さずにスタンドアロンでベリカットを使用する場合に選択します。



- (2) ボタンを押します。

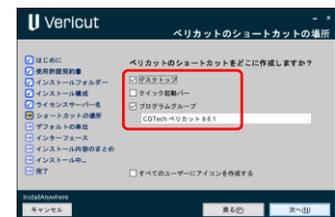
12. ベリカットのインストール(6) ショートカットの作成場所

- (1) ショートカットを作成したい場所にチェックをつけます。
デスクトップ/クイック起動バー/プログラムグループを選択できます。

*プログラムグループのチェックは極力外さないでください。
プログラムグループを作成しないと、Windowsのスタートメニューからベリカットの各種操作が利用できなくなります。

- (2) 「すべてのユーザーにアイコンを作成する」は、必要に応じてチェックします。

- (3) ボタンを押します。

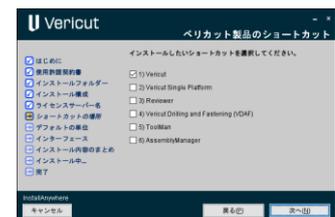


13. ベリカットのインストール(7) 作成するアイコンの選択

- (1) 「Vericut」または、「Vericut Single Platform」のいずれか(ご購入になった製品)にチェックを入れます。
(2) 以下のシステムも直接起動の必要性に応じて選択できます。

- ・Reviewer
- ・Vericut Drilling and Fastening(VDAF)
- ・ToolMan
- ・AssemblyManager

- (3) ボタンを押します。



14. ベリカットのインストール(8) デフォルトの単位の選択

- (1) ベリカットで新規ファイルの作成時に選択されるデフォルトの単位を「インチ」または「ミリ」のいずれかを指定します。

- (2) ボタンを押します。



15. ベリカットのインストール(9) ヘルプ方式の選択

(1) ベリカットで表示するヘルプの仕様を「オンライン(英語版)」または「ローカル」のいずれかを指定します。

*日本語版のヘルプは「ローカル」方式で用意されています。

(2) ボタンを押します。



16. ベリカットのインストール(10) ベリカットインターフェースの選択

(1) オプションを購入されている場合は、該当製品の項目にチェックを入れます。

•Espritインターフェース

(EDGE 2024.4.xxx and later/2024.3.xxx and earlier/TNG Build20/Build19)

•Edgecamインターフェース

(2025.1/2024.1.2515/2023.1/2022.1.2228/2022.0.2211/2021/2020.1/2020)

•Mastercamインターフェース

(2026/2025/2024)

•GibbsCAM インターフェース

(2026/2025/2024/2023)

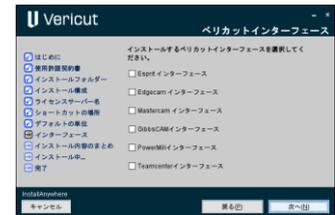
•PowerMill インターフェース

•Teamcenter インターフェース

(2) ボタンを押します。

(3) 指定したソフトウェアによっては、次画面でフォルダの確認画面を表示します。

パスを確認して ボタンを押します。



17. ベリカットのインストール(11) インストール内容の確認と実行

(1) 「インストール内容のまとめ」ページで内容を確認します。

(2) ボタンを押すとインストールが開始されます。

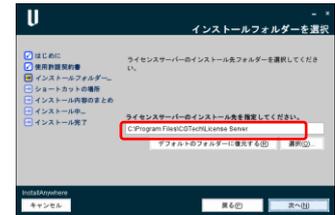
*インストール内容を変更したい場合は、 ボタンを押して変更したい箇所まで戻り、設定内容を変更してください。

*インストール実行中は最新インフォメーションが画面に表示されます。



21. ライセンスサーバーのインストール(3) インストール先の指定

- (1) インストール先のフォルダーを指定します。
- (2) 入力内容を初期設定に戻す場合は、**デフォルトのフォルダーに復元する(R)** を押します。
- (3) **次へ(N)** ボタンを押します。



22. ライセンスサーバーのインストール(4) ショートカットの作成場所

- (1) 登録するプログラムグループを確認します。
*プログラムグループのチェックは極力外さないでください。
プログラムグループを作成しないと、Windowsのスタートメニューからライセンスサーバーの各種操作が利用できなくなります。
- (2) 「すべてのユーザーにアイコンを作成する」は、必要に応じてチェックします。
- (3) **次へ(N)** ボタンを押します。



23. ライセンスサーバーのインストール(5) インストール内容の確認と実行

- (1) 「インストール内容のまとめ」ページで内容を確認し、**インストール(I)** ボタンを押すとインストールが開始されます。
- (2) インストール内容を変更したい場合は、**戻る(B)** ボタンを押して変更箇所まで戻り、設定内容を変更してください。



24. ライセンスサーバーのインストール(6) インストール完了

インストールを終えると「インストール完了」の画面に切り替わります。

- (1) 「ライセンスマネージャーサービスのインストールと設定」に **チェックがついている** ことを確認してください。
- (2) **完了(O)** ボタンを押し、インストーラーを終了します。





ライセンスサーバーの新規インストール、またはバージョンアップを行う場合(🐱🐶🐷🐽)に必要な作業です。

弊社よりベリカットの担当者様宛に電子メールにてベリカットのライセンス情報が届きます。
送られてきたライセンス情報を使用して、ライセンスファイルの作成と環境変数の設定を行います。

25. ライセンス情報の登録

- (1) 「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウが表示されます。
- (2) 環境変数に「LSERVOPTS」が未定義の場合、ウィンドウ上部に赤字で警告が表示されます。
未定義のメッセージが表示された場合は、**更新** ボタンを押下して環境変数を定義させます。
- (3) ライセンス情報メール内の下部に記載されている「# Company」の行から、文末の「# End of license」までの間のテキストをコピーします。
- (4) 「ライセンスファイルの作成」ウィンドウ内に、コピーした内容を貼り付けします。



- (5) 正常に処理が終了すると「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウの最下部に「ライセンスファイル C:\ProgramData\CGTech\license\cgtech.lf 適切に作成されました」とメッセージが表示されます。
- (6) **閉じる** ボタンを押してライセンス作成ウィンドウを終了します。
- (7) 読み込んだライセンスファイルで、センチネルサーバーサービスを自動的に登録して開始します。
- (8) 「システムを再起動する」にチェックを入れ、**完了** ボタンを押してインストーラーを終了します。



参照するライセンスサーバーを、ベリカットを起動するPCとは別のPCに新規で構築(🐷)している場合は、次の手順に進みます。

ライセンスサーバーを他PCから参照しない(🐱🐶)、または既に構築済み(🐽)の場合は、[手順28]に進みます。
[手順26・27]は必要ありません。

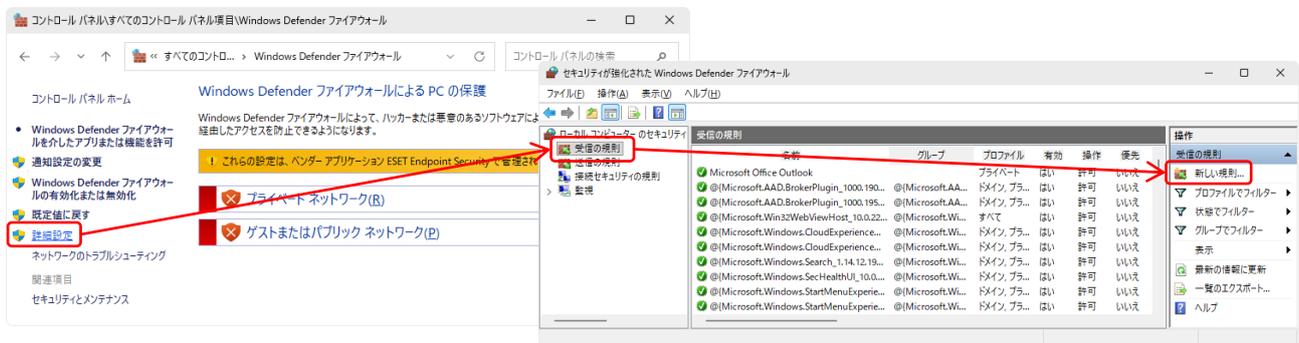


以下の手順は、ライセンスサーバーとベリカットを別のPCで使用する場合に、
新規で構築しているライセンスサーバー側のPCで必要となる作業です。
 これらを**同じPCで運用する場合は[手順28(UACの有効化)]に進んでください。**

26. ベリカットをクライアントPCで使用する場合の設定(1)ファイアウォールの例外設定

この作業は、次の[手順27]の最後に**PCの再起動が必要**になりますのでご注意ください。

- (1) Windowsのタスクバーにある[🔍 検索]をクリックします。
- (2) キーボードから「control」と入力して、候補リストから[🏠 コントロールパネル]を選択します。
- (3) コントロールパネルで、[🏠 Windows Defenderファイアウォール]
 (カテゴリ表示の場合は、[🛡️ システムとセキュリティ] > [🏠 Windows Defenderファイアウォール])
- (4) サイドメニューで「 🏠 詳細設定 」を選択します。
- (5) 「セキュリティが強化されたWindows Defenderファイアウォール」ウィンドウで、[🟢 受信の規則]を
 選択します。
- (6) 右側の操作リストで[🟢 新しい規則...]を選択します。



- (7) 「新規の受信の規則」ウィザードで規則の種類に「プログラム」を選択して、[次へ(N) >]を押します。
- (8) 「このプログラムのパス」の [参照(R)...]を押します。
- (9) 「C:\¥Program Files¥CGTech¥License Server¥lservnt.exe」を選択して [開く(O)]を押します。
 なお[手順21]でライセンスサーバーのインストール先をデフォルトのフォルダーから変更している場合は、
 変更内容に準じて設定してください。
- (10) [次へ(N) >]を押します。



- (11) 操作の選択で、「接続を許可する」を選択して、**次へ(N) >** を押します。
- (12) 規則の適用でドメイン、プライベート、パブリックのすべてにチェックを入れ **次へ(N) >** を押します。
 *パブリックにチェックを入れるときはシステム管理者に相談の上、行ってください。



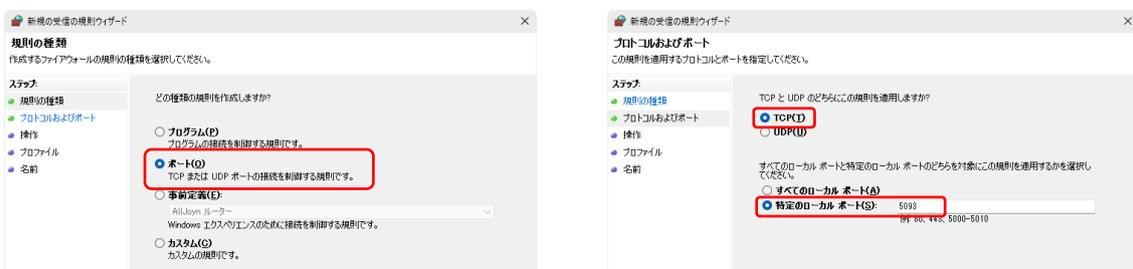
- (13) 任意の名前(例:lserverなど)を入力して、**完了(E)** を押して設定を終了します。



27. ベリカットをクライアントPCで使用する場合の設定(2)ファイアウォールのポート設定

ネットワークライセンスの環境で使用するためには、ライセンスサーバー側でWindowsのファイアウォール設定を変更し、Sentinel License Managerが認証に使うポートを解放する必要があります。

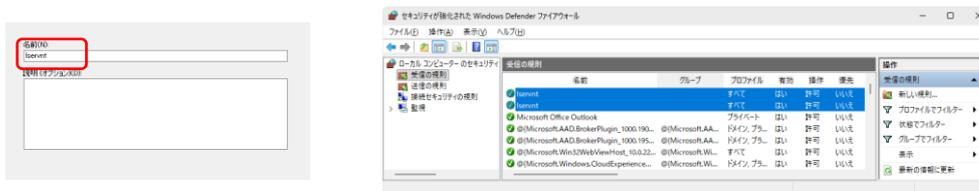
- (1) ファイアウォールの設定ウィンドウで、[受信の規則] を選択します。
- (2) ウィンドウ右側の操作リストで、[新しい規則...] を選択します。
- (3) 「新規の受信の規則」ウィザードで規則の種類に「ポート」を選択して、**次へ(N) >** を押します。
- (4) プロトコルの選択に「TCP」、指定のローカルポートに「5093」を入力して、**次へ(N) >** を押します。



- (5) 操作の選択で、「接続を許可する」を選択して、**次へ(N) >** を押します。
- (6) 規則の適用でドメイン、プライベート、パブリックのすべてにチェックを入れ **次へ(N) >** を押します。
 *パブリックにチェックを入れるときはシステム管理者に相談の上、行ってください。



(7) 任意の名前(例:lserverntなど)を入力して、**完了(F)** を押して設定を終了します。



(8) PCを再起動させて、設定を適用させます。

ユーザーアカウント制御の復元(28)



ライセンスサーバーを伴う新規またはバージョンアップのインストール()で、作業のために変更した設定を戻すための手順です。

この作業ではPCの再起動を伴います。

28. ユーザーアカウント制御(UAC)の有効化とコンピューターの再起動

[手順1]で行ったユーザーアカウント制御の変更を元の設定に戻します。

- (1) Windowsのタスクバーにある[ 検索]をクリックして、キーボードで[uac]と入力します。
- (2) 検索結果リストから[ ユーザーアカウント制御設定の変更(コントロールパネル)]を選択します。
通知レベルを[手順1(4)]で確認したデフォルトの設定に直します。
- (3) 
- (4) コンピューターを再起動させて、設定内容を反映させます。

ベリカットの起動確認(28)



インストール作業がすべて終了したら、正常に起動するか確認します。

29. ベリカットの起動

デスクトップに作成された『Vericut 9.6. x』のアイコン、またはWindowsのスタートメニュー()で  をクリックしてアプリ一覧に表示を切り替え、[ CGTech ベリカット 9.6. x]グループにあるアイコン『 Vericut 9.6. x』を選択し、ベリカットを実行して正常に起動できることを確認します。



付録(1)ベリカットのアンインストール

エクスプローラーで、ベリカットのインストール先のフォルダーを表示します。
さらに直下の「Uninstaller」フォルダーに移動し、「CGTech ベリカット 9.6.1 をアンインストール.exe」を右クリックして、「管理権限として実行」を実行します。

(Cドライブにインストールしている場合のパス例)

C:\Program Files\CGTech\Vericut 9.6.1\Uninstaller\

付録(2)ベリカットの動作環境

- 2又は3ボタンのマウス（マウスホイール付の3ボタンマウスを推奨します。）
- ネットワーク接続を有するハードウェア
- 16ビット(65万色/High Color)以上のグラフィックスカード
- ハードウェアグラフィックスアクセラレータが必須です(NVIDIA社製GPUを推奨します)。
- グラフィックスメモリは2GB GPU RAM(推奨4GB)以上が必要です。
- 画面解像度は1920×1080以上必要です(低解像度では縦方向の表示が切れる場合があります)。
- メモリは最小16GB、推奨は32GB以上です。

OS	Windows10/11 64ビット Professional *Windows10は2025年10月にMicrosoft社によるサポートが終了予定です。 安全性と将来の互換のため、Windows11でのご利用を推奨いたします
プロセッサ	AMD Ryzen Threadripper(推奨)、インテルi7、Xeon
メモリ	32GB以上推奨（最低16GB以上）
ビデオ	AMD Radeon RX 4GB GPU RAM以上推奨（最低2GB以上） NVIDIA GeForce 2GB GPU RAM以上
ディスク	SSD(Solid State Drive) 最低50GB以上の空きNVMe接続を推奨



インストール作業中に困ったときは…



付録(3) 手順索引

手順番号と作業内容は各構築環境で共通です。
作業フローは巻頭の「はじめに インストール作業の確認」のフローチャートを参照してください。

【手順 3】 確認したライセンスサーバーの「実行ファイルのパス」がCGTech関連でなかった

ここで確認する「実行ファイルのパス」にベリカット関連ではないソフトウェアのパスが見えている場合は、既に他社のソフトウェアで使用するため当該プログラムがインストールされている可能性があります。状況により対処方法が異なりますので、技術サポートまでお問い合わせください。

【手順 7】 インストーラーが起動しない

vericut_install_v961.exeを直接実行したのち、5分以上経過してもインストーラーが起動しない場合は、Windows内に必要なランタイムファイルが登録されていない可能性があります。新規のPC、またはMicrosoftOfficeがインストールされていないPCで発生することがあります。ベリカットFAQサービス(<https://faq.vericut.jp/>)内の「ファイルのダウンロード」より、Javaのランタイム環境を入手してインストールしてから、再度お試しください。

【手順 7】 インストーラーで言語選択ができない

インストーラーが起動した際に言語選択が表示されずに、英語版で立ち上がることがあります。この現象はJAVAのバージョン1.7がインストールされていない時に発生することがあります。本現象が発生したときには、次の手順でインストーラーを直接起動してください。

Windowsの[ (スタート)]>[プログラムとファイルの検索]に以下の内容を入力します。

USB版のインストーラーで、USBドライブがUドライブの場合(U:¥)の入力例

```
「U:¥ vericut_install_v961.exe -l ja_JP」
```

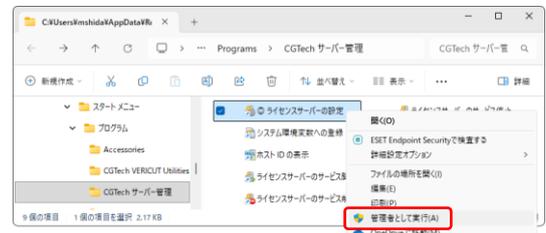
実際のパス名は[手順6]で表示したフォルダー名を参照してください。

オプションパラメーターは「ハイフン・エル(小文字)」と「ja(小文字)_(アンダーバー)JP(大文字)」です。ファイル名とふたつのオプションパラメーターの間はそれぞれ半角スペースで区切ります。

【手順 25】「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウを直接起動させたい

管理者権限でライセンスの登録に失敗する場合、またはオプションモジュールの追加などでライセンスの登録のみを行う場合は、以下の手順でライセンス登録ウィンドウを起動してから登録作業を行います。

1. [Windows (スタート)]メニューを表示し、[すべて >] をクリックしてアプリ一覧に表示を切り替えます。
2. メニューリストで[CGTechサーバー管理]グループを展開します。
3. グループ内にあるいずれかのアイコンの上で、右クリック>[詳細]>[ファイルの場所を開く]を選択します。
4. 表示されたフォルダーで「@ライセンスサーバーの設定」の上で右クリックします。
5. コンテキストメニューで[管理者として実行]を選択します。
6. コマンドプロンプトで、キー押下を要求されたら[Enter]キーをその都度押します。
7. 「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウが起動します。



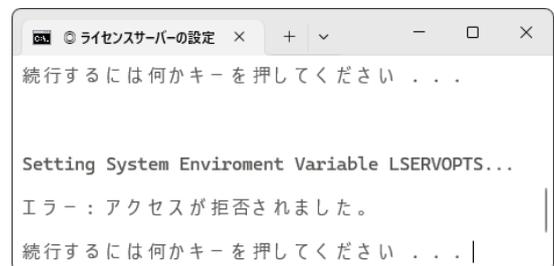
【手順 25】「ライセンスのホストIDがコンピューター上のどれとも合致しません。」というエラーが出る

複数のMACアドレスが存在するPCの場合、誤ってこのエラーメッセージが表示される場合があります。ライセンスのホストIDとPCのMACアドレスが一致している場合は、ポップアップウィンドウで「はい」を選択してライセンスファイルの作成を続けてください。

【手順 25】 コマンドプロンプトでのエラーメッセージ(4) エラー:アクセスが拒否されました。

システム環境変数に書き込む権限がないときに表示されるエラーメッセージです。

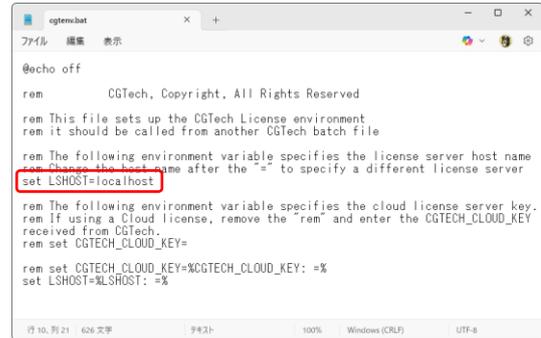
手動で「@ライセンスサーバーの設定」コマンドを起動する際は、必ず「管理者として実行」してください。



【手順 29】「ライセンスサーバーが見つかりません」というエラーが出てベリカットが起動しない

ベリカットの起動時に、設定されたライセンスサーバー名が参照先として見つからないと発生します。インストール時に[手順11]で設定した内容のスペルミスなどが考えられます。現在の設定内容は以下の手順で確認できます。

1. ベリカットの起動アイコンの上で右クリックし、コンテキストメニューで[ファイルの場所を開く]を選択します。
2. 表示された「commands」フォルダー内にある「 cgtenv.bat」ファイルの上で右クリックします。
3. コンテキストメニューで、[編集]を選択します。
4. 表示されたテキストエディタで、10行目付近に記載されている「set LSHOST=」の値に、ライセンスサーバー名が正しく設定されていることを確認してください。



```
cgtenv.bat
ファイル 編集 表示

@echo off

rem      CGTech, Copyright, All Rights Reserved

rem This file sets up the CGTech License environment
rem it should be called from another CGTech batch file

rem The following environment variable specifies the license server host name
rem Change the host name after the "=" to specify a different license server
set LSHOST=localhost

rem The following environment variable specifies the cloud license server key.
rem If using a Cloud license, remove the "rem" and enter the CGTECH_CLOUD_KEY
rem received from CGTech.
rem set CGTECH_CLOUD_KEY=

rem set CGTECH_CLOUD_KEY=%CGTECH_CLOUD_KEY:=%
set LSHOST=%LSHOST:=%

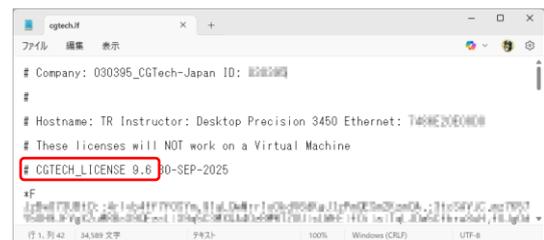
行 10, 列 21  626 文字  992x1  100%  Windows (CRLF)  UTF-8
```

なお、ホスト名が正しく設定されていても、同一ネットワーク上に多くのPCが存在しているとライセンスサーバーの検索に時間がかかってしまい、エラーになることがあります。このような環境の場合は、ライセンスサーバーの参照先をIPアドレス(設定例 192.168.0.1など)に変更してください。

【手順 29】「ライセンスサーバーは見つかりましたが、ライセンスファイル情報がありません。バージョンを確認してください。」というエラーが出てベリカットが起動しない

正しいライセンス情報が登録されていないと発生します。ライセンス情報を確認し、正しいライセンス情報を登録しなおします。

1. 登録に使用したライセンス情報をメールまたはテキストエディタで確認します。5行目に「# CGTECH_LICENSE 9.x～」で記載の数字が対応バージョンを示しています。
2. 正しいバージョンのライセンス情報を用意します。
3. 本手順索引の「【手順 25】「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウを直接起動させたい」の内容に従い、管理者権限でライセンス情報を登録し直します。



```
cgtech.lic
ファイル 編集 表示

# Company: 030395_CGTech-Japan ID: 0303950000
#
# Hostname: TR Instructor: Desktop Precision 3450 Ethernet: T406E20E0000
# These licenses will NOT work on a Virtual Machine
# CGTECH_LICENSE 9.0 10-SEP-2025
*F
[license information]

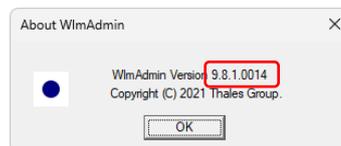
行 1, 列 42  34,389 文字  992x1  100%  Windows (CRLF)  UTF-8
```

【手順 29】「ライセンスサーバーは見つかりましたが、バージョンが違います」というエラーが出てベリカットが起動しない

ベリカットのバージョンに対応していないバージョンのライセンスサーバーがインストールされているか、対応していないバージョンのライセンス情報が登録されている場合に発生します。ライセンス情報およびライセンスサーバーのバージョンを確認し、対応したバージョンのライセンスサーバーをインストール、または対応したバージョンのライセンス情報を登録してください。

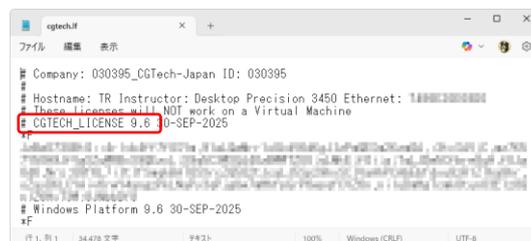
インストールされているライセンスサーバーのバージョンを確認します。

1. [スタート]メニューを表示し、[すべて] をクリックしてアプリ一覧に表示を切り替えます。
2. スタートメニューで[CGTech ライセンス管理]グループを展開し、[SentinelLM LicenseAdministrator (WlmAdmin)]を実行します。
3. 「WlmAdmin」ウィンドウのメニューバーで、[Help]>[About WlmAdmin...]を実行します。
4. メッセージアラートで表示されたバージョンが9.8.1でない場合は、ベリカットのVer9.3以降に対応していないため、ベリカットが起動できません。
5. 本書の手順19～24「ライセンスサーバーのインストール」の内容に従い、最新のライセンスサーバーをインストールします。



ライセンスサーバーのバージョンに問題がない場合は、登録されているライセンス情報を確認します。

1. Windowsのエクスプローラーで、以下のフォルダーを表示します。
C:¥ProgramData¥CGTech¥license
2. フォルダー内にあるファイル[cgtech.lf]をテキストエディタで確認します。
3. 5行目に「# CGTECH_LICENSE 9.x～」の記載の数字が登録されているライセンス情報のバージョンを示しています。
4. 正しいバージョンのライセンス情報を用意します。
5. 本手順索引の「【手順 25】「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウを直接起動させたい」の内容に従い、管理者権限でライセンス情報を登録し直します。



【手順 29】「共有ライブラリーにアクセスできません」というエラーが出てベリカットが起動しない

マイクロソフトのC++ランタイムライブラリーの関連で発生するエラーで、新規のPCなどで発生することがあります。ベリカットのインストール先に用意されているファイル(vc_redist.x64.exe)を実行して、必要なランタイムライブラリーをインストールしてから再度お試しください。

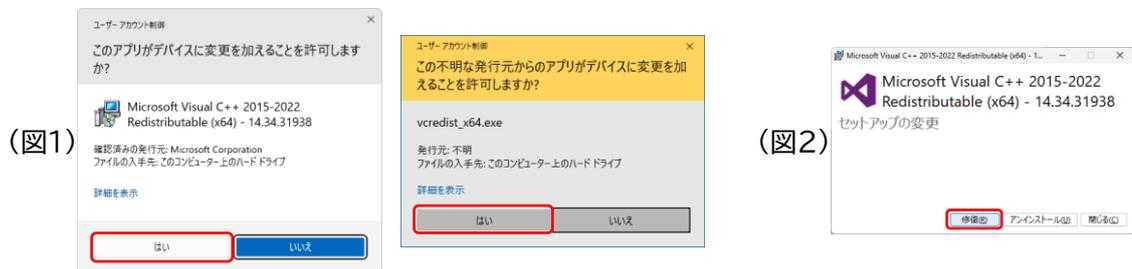
実行ファイルの収納先(インストール先がCドライブの場合)

C:\Program Files\CGTech\Vericut 9.6.1\windows64\spatial\iop2025\redist\VC17\

アドレス内の数字はバージョンにより異なることがあります。

(図1)のようなユーザーアカウント制御の警告メッセージが表示された場合、すべて「はい」を選択して処理を進めてください。

(図2)のメッセージが表示された場合は、[修復(R)]を選択してください。



ランタイムライブラリーのインストール時に「ディスク領域が足りません」などのエラーが表示される場合があります。他のアプリケーションのハードウェアキーなどがポートに挿入されていないかをご確認ください。該当する場合は、ハードウェアキーを外した状態で、再度インストールをお試しください。

2025年10月1日 第33版1刷発行 (V9.6)

株式会社CGTech

VericutはCGTech社の登録商標です。
AUTO-DIFFIはCGTech社の商標です。
その他の会社名及び製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-5-3 エルグビル 3F
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-19-25 MS桜通5F
【インストールに関する質問】 support@cgtech.co.jp

【ベリカットFAQ】 <https://faq.vericut.jp/>

FAQのアカウントとパスワードは、メンテナンス・サービスにご加入のお客様に発行しております。